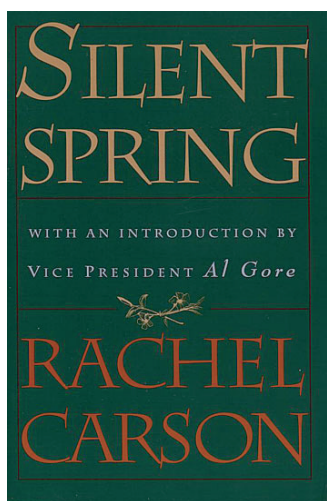


レイチェルカーソン生誕100年を迎えて 「沈黙の春」-今なお警鐘の色あせず



本年はレイチェル・カーソン (Rachel Carson) 生誕100年にあたります。この記念すべき年に、レイチェル・カーソン女史、そして、その著書「沈黙の春」を振り返ってみたいと思います。

カーソンは1907年5月27日、米スプリングデールで生まれました。ペンシルベニア女子大を卒業。大学では女性では当時珍しい動物学を学びました。さらに

ジョンズ・ホプキンス大学修士課程を修了しましたが、ここで海との出会いがあり海洋生物学者となりました。米漁業局 (後、漁業野生局) に入局しましたが、著書「われらをめぐる海」がベストセラーになり、漁業野生局を退職し、文筆活動に専念するようになりました。そして、海の作家としてその地位を確立しました。

1958年、一通の手紙により「沈黙の春」の執筆を決意しました。当時、DDTを代表とする農薬が万能の化学薬品として大量に散布され、結果として、環境破壊がすすみつつありました。1962年「沈黙の春」が出版され、大きく注目されることとなりました。当然のごとく化学工業界からは反発の声が挙がりました。しかし、ケネディ大統領の心を動かし、農薬の危険性について検討されることとなり、結果的にDDTをはじめ危険性の高い農薬は使用禁止になり、環境問題の重要性が社会に浸透するきっかけとなりました。

「沈黙の春」では農薬の問題が詳細に記されています。最初の章「明日のための寓話」では、農薬により自然が破壊された町の光景を描写し、「・・・自然は沈黙した。・・・春は来たが、沈黙の春だった。・・・すべては人間が招いた禍だった」と記されています。

本書の概要は次のとおりです。農薬には恐るべき力があり、単純に農薬の力で自然を支配できると考えるのは誤りであり、逆に自然や人間を脅かす力として大変な事態を招

くことになる。農薬の汚染は、自然界に大きく広がり、食物連鎖で生物中にも連鎖的に広まり、しかも生物濃縮により毒性は飛躍的に高まっていく。農薬の影響は生物界に大きく広まり、ついには人間にも及ぶ。わずかな害虫や雑草を駆除するためにどれだけ大きな犠牲が伴うのか、農薬に頼るのではなく別の道、生物レベルでの駆除法を考えるべきである。

(環境総研 高井明徳)

2006年度環境総研講座

2006年度大阪信愛女学院短期大学公開講座 (城東区、鶴見区、旭区共催、都島区後援) の内、環境総研講座として3回の公開講座が開催されました。

第1・2回 (第15・16回環境総研講座) は、「昆虫の世界を楽しむ」をテーマに、大阪信愛女学院中部教頭・短期大学講師の松田潔氏を講師として開催されました。第1回は5月27日 (土) に本学鶴見学舎において「①虫の博物誌と科学」の題目で講演いただき、6月3日 (土) は「②フィールドでの虫の観察会」として、鶴見緑地公園において観察会を行いました。講演会では、先生の専門のベニボタルのことでテレビ出演されたビデオ上映や、先生が昆虫と関わるようになった自分史などを織り交ぜながらの楽しいお話しでした。

観察会は、講演会以上の多数の参加者を得て、小学生の親子連れの方が多数参加され、楽しい観察会となりました。高大連携の提携授業を行っている鶴見商業高校の生物担当で昆虫に詳しい村上豊先生も参加され、参加者からの質問等の対応にもサポートいただきました。

第3回 (第17回講座) は、大阪府立文化情報センター共催事業として、6月24日 (土) に大阪府立文化情報センターにおいて開催され、大阪園芸療法研究会会長で本学非常勤講師の太田周作氏により「ヒトと植物とのかかわりー園芸活動はなぜ必要かー」の題目でご講演いただきました。先生の長年にわたる研究・経験の中での造詣の深いお話しに、多くの考えさせられることがありました。

OSIES News 人と環境 No.6 (2007)

大阪信愛環境総合研究所 (OSIES) 発行 (2007年5月)

大阪信愛女学院短期大学鶴見学舎内

〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見6-2-28

TEL:06-6180-1041, FAX:06-6180-1045,

Web page:<http://www.osaka-shinai.ac.jp/osies/>

2007年度大阪信愛女学院短期大学公開講座「環境総合研究所講座」ご案内

第1回 6月 9日 (土) 「花と緑のまちづくりが目指すもの」

環境計画・コンサルタント 野見山 由紀子 氏

第2回 6月21日 (木) 「天ぷら油で車が走る? 菜の花プロジェクトの取り組み」

菜の花プロジェクトみのお 坂本 洋 氏

第3回 6月30日 (土) 「野の花をより美しく飾る」

アトリエ「花」フラワーデザインスクール主宰 西尾 知春 氏

開催時間: 第1回: 14:30-16:00、第2回: 18:30-20:00、第3回: 14:00-16:00 / 開催場所: 第1・3回: 本学鶴見学舎、

第2回: 大阪府立文化情報センター (中央区大手前)

/ 申込み等問い合わせ先: 大阪信愛女学院短期大学公開講座係 (TEL 06-6180-1041) まで